

**【第2回】Japan Home & Building Show 2023 特別企画
『学生プロジェクトデザインコンペティション 2023』開催決定！**

建築・デザイン等を学ぶ学生から『地域を想う、私の思い』をテーマにプレゼンテーションを募集
住宅・建築関連の専門展示会「Japan Home & Building Show 2023」で最終審査・表彰・展示



前回の最優秀賞

むすびステーション -「停留所」でむすぶ、人とひと、人とまち
代表者 名古屋工業大学 伊藤研究室 濱田紗希さん

日本最大級の住宅・建築関連専門展示会「Japan Home & Building Show 2023」（2023年11月15日～17日、東京ビッグサイト）を主催する一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、Japan Home & Building Show 特別企画『学生プロジェクトデザインコンペティション 2023』を本年度も開催いたします。『地域を想う、私の思い』をテーマに現在構想中または進行中のプロジェクトのプレゼンテーションを募集します。（企画協力：一般社団法人 HEAD 研究会）

本コンペティションは「Japan Home & Building Show」の特別企画として、関連業界の第一線で活躍する審査員が、学生の考案した優れたプロジェクトデザインを選出するものです。

応募作品のうち上位入賞 24 作品については「Japan Home & Building Show 2023」の会期中、会場内企画エリアに展示いたします。また 11 月 17 日には、「学生プロジェクトコンペティション 2023 最終審査会・授賞式」を開催し、最終審査の対象となった 6 作品の応募者による公開プレゼンテーションと公開審査により最優秀賞を決定し、受賞者には賞金 10 万円が贈られます。

詳細は「Japan Home & Building Show 2023」公式サイトにてご案内いたします。
(<https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/exhibition/competition.html>)

【 展示会に関するお問い合わせ先 】
一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 石郷岡、小畑、瀧浪
〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22
TEL : 03-3434-1988 E-mail : jhbs@jma.or.jp

「学生プロジェクトデザインコンペティション 2023」企画背景・概要

■ プロジェクトデザインとは

プロジェクトデザインとは社会問題に対して、前提条件からデザインを行い、問題解決を行うことです。どの地域でどのような人を巻き込んだら何が出来るようになるのかなど、問題提起から敷地、用途、運営主体まで自ら設定し、それらの条件をデザインで解決します。



「学生プロジェクトデザインコンペティション」ロゴマーク

■ 趣旨

『地域を想う、私の思い』本コンペは建築業界の専門家が集まる舞台で、学生によるプロジェクトのアイデアを一堂に集め、作品の展示と公開プレゼンテーションを行い競い合います。そこで、企業と学生との新たな繋がりをつくり、企業と学生でプロジェクトを協働して進められることまでも視野に入れたものです。そのための縁を創る「創縁の場」になることを期待します。

■ 概要

一般社団法人日本能率協会、一般社団法人 HEAD 研究会学生事務局が「Japan Home & Building Show(ジャパンホーム&ビルディングショー)」の公式アワードとして 2022 年より開催し、本年は第 2 回となります。実績豊富な審査員を迎え、募集製品の中からテーマに基づき、1 次審査を通過された 24 作品中の 6 作品から最優秀作品を選定、表彰するものです。

■ 「Japan Home & Building Show(ジャパンホーム&ビルディングショー)」について

工務店、ハウスメーカーおよび設計・デザイン事務所のほか、建設会社、ディベロッパー、リフォーム会社など建築に関わるプロが来場する日本最大級の建築に関する専門展示会です。

1. 審査員（法人格省略、順不同）

審査員		
	<p>VUILD 株式会社 代表取締役</p> <p>あきよし こうき 秋吉 浩気 氏</p>	<p>2017 年に建築テック系スタートアップ VUILD を創業し、「建築の民主化」を目指す。デジタルアプリケーションやソーシャルデザインなど、モノからコトまで幅広いデザイン領域をカバーする。</p> <p>主な受賞歴に Under 35 Architects exhibition Gold Medal 賞(2019)、グッドデザイン金賞(2020)、Architecting Design AWARD 最優秀賞(2021)。</p> <p>主な著書に、『メタアーキテクトー次世代のための建築』</p>
	<p>ブルースタジオ 専務取締役・ クリエイティブディレクター</p> <p>おおしま よしひこ 大島 芳彦 氏</p>	<p>建築企画・設計を中心にランドスケープデザイン、ブランディング、不動産事業企画など横断的な手法を用いて不動産再生、都市再生に取り組む。全国各地では自治体とともに地域再生ワークショップ「リノベーションスクール」の開催や都市再生構想の立案を手がける。武蔵野美術大学造形学部建築学科 客員教授、大阪工業大学工学部建築学科 客員教授。一社)リノベーション協議会 理事副会長。</p> <p>2016 年「ホシノタコ団地」でグッドデザイン賞 ファイナリスト金賞(経済産業大臣賞)。2022 年「北条まちづくりプロジェクト-morineki-」で都市景観大賞(国土交通大臣賞)。</p> <p>2022 年 なりわい居住型賃貸住宅「hocco」がグッドデザイン賞 BEST100 グッドフォーカス賞[地域社会デザイン]。2017 年には NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。</p>

 <p>千葉工業大学／テレデザイン 准教授/代表</p> <p>たじま のりゆき 田島 則行 氏</p>	<p>1964年東京都生まれ。工学院大学建築学科卒業、AAスクール(イギリス)大学院修了。東京大学大学院にて博士後期課程を修了。1993年に独立。96年には東京の三田にオープンスタジオ NOPE 設立。シェアオフィスの先駆けとして様々な活動を行う。99年よりテレデザインを設立。工学院大学および関東学院大学にて非常勤講師をつとめる。2013年4月より千葉工業大学に着任し田島研究室が発足。設計デザイン活動の一方で、東京キャナルプロジェクトや日本橋・神田エリアにおけるセントラル・イースト・東京(CET)、袖ヶ浦団地の活性化プロジェクト、銚子市における小学校再生プロジェクト、長野県飯綱町における古民家再生など、数多くのリノベーション、まちづくり、地域再生プロジェクトを手掛けている。JCD デザイン優秀賞受賞、INAX デザインコンペ入選。グッドデザイン賞受賞、建築家協会優秀作品選、都市住宅学会・学会賞著作賞など受賞多数。</p>
 <p>トミアーキテクチャ 代表</p> <p>とみなが みほ 富永 美保 氏</p>	<p>1988年東京都生まれ。横浜国立大学大学院 Y-GSA 修了。東京藝術大学美術学科建築科教育研究助手を経て、2014年にトミアーキテクチャを設立。</p> <p>大切にしているのは、日常を観察して、さまざまな関係性の編み目のなかで建築を考えること。</p> <p>小さな住宅から公共建築、パブリックスペースまで、土地の物語に編みこまれるような、多様な居場所づくりを行っています。</p> <p>第1回 JIA 神奈川デザインアワード優秀賞受賞、SDレビュー2017入選、第2回 Local Republic Award 最優秀賞受賞、2018年ヴェネチアビエンナーレ出展。</p>
 <p>山本想太郎設計アトリエ 代表 HEAD 研究会 副理事長</p> <p>やまもと そうたろう 山本想太郎 氏</p>	<p>1966年東京生まれ。1991年早稲田大学大学院修了。1991～2003年坂倉建築研究所勤務。2004年山本想太郎設計アトリエ設立。現在、東洋大学・工学院大学・芝浦工業大学 非常勤講師。日本建築家協会デザイン部会長。HEAD 研究会副理事長。主な建築作品として、南洋堂ルーファウンジ、日本橋大伝馬町ラザビル、来迎寺本堂・庫裏、妻有田中文男文庫、越後妻有清津倉庫美術館など。主な著書・訳書として、『現代住居コンセプト』(共著、INAX 出版)、『建築家を知る／建築家になる』(王国社)、『イラスト解剖図鑑 世界の遺跡と名建築』(監修・訳)など。主な受賞歴として、オーストラリア建築家協会賞、AACA 賞、東京建築賞など。</p>

2. 選考方法

学生プロジェクトデザインコンペティション 2023 は募集作品の中から、1次審査（非公開）で審査員が上位入賞（会場展示）24 作品、そのうち最終審査対象となる作品 6 点を選定します。最終審査対象となった方には 11 月 17 日（金）に東京ビッグサイトにて開催される最終審査会でプレゼンテーションをしていただき、公開審査の上で最優秀作品を決定します。会場展示作品については、会場での一般投票による会場投票賞の対象となります。

※最終審査会についての詳細は、1次審査後、対象作品の代表者にご連絡いたします。

3. テーマ

テーマは『**地域を想う、私の思い**』です。そのプロジェクトがどう社会や地域と繋がるのかを明確に示してください。テーマに沿ったプロジェクトであれば応募可能です。

（※実施を前提としていないアイデアでも結構です。対象とする地域の規模や場所、応募者との関係性など問いません。また、特定の地域を前提としてなくても結構です。）参考として下記のようなキーワードが考えられます。

「リノベーション、コンバージョン」「モノづくり」「コミュニティづくり」「空き家再生」「社会実験」「インスタレーション」「スマートモビリティ」「サステナビリティ」など

4.応募資格

建築学系の学生、研究室及び建築系サークルや学生団体の方々。（※個人又は団体でも構いません。）

1次審査に通過した場合、11月17日(金)に東京ビッグサイトで行われる公開式の最終審査会に参加してプレゼンテーションをおこなうことが可能な方

5.応募方法

応募フォーム (<https://school.jma.or.jp/s/3FleB>) に登録の上、下記を期限内に提出すること。

■データ提出物

応募作品記入フォーマット (コンペ HP より用紙をダウンロードして記入)

・プレゼンシート：PDF(推奨)または JPEG 形式 (10MB 以下/300dpi 以上)

A1 サイズ片面縦使い 1 枚。詳細仕様は HP に掲載。

・プレゼンシートの右下に、15 ポイント以上の文字サイズで、団体名、代表者の連絡先 (メールアドレス、電話番号や HP、Instagram の QR コードなど) を表記すること

・プレゼンテーション動画又はスライドショー (任意) (1,2 分程度)

※動画について、提出の有無は審査に影響しません。

6. 募集期間・データ提出期限

2023 年 6 月 1 日(木)から 2023 年 9 月 15 日 (金) 23:59 まで

7. 2次審査用パネル提出

1次審査通過作品 24 点については、当日会場で展示いたしますので、選定された応募者には、応募者ご自身で展示用パネルを作成・提出していただきます。

提出物：A1 片面縦使い 1 枚。プレゼンシートを、スチレンボード等を使用しパネル化したもの (5mm 厚)

郵送：2023 年 11 月 13 日(月)午前中 (必着)

持込：2023 年 11 月 13 日(月)11:00~16:00

宛先：〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1 東京ビッグサイト東展示場

Japan Home & Building Show 主催者事務局 宛て

8. パネル展示

Japan Home & Building Show の開催期間である 2023 年 11 月 15 日(水)から 17 日(金)の 3 日間、会場内の企画エリアにて上位入賞 24 作品を展示します。

A1 プレゼンテーションボード、プレゼンテーション動画の掲示をおこないます。また会期中展示会場にて、会場投票賞の一般投票をおこないます。

・来場方法：「Japan Home & Building Show 2023」に事前登録の上、ご来場ください。

<https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/>

9. 「学生プロジェクトデザインコンペティション 2023 最終審査会・授賞式」開催概要

・開催日：2023 年 11 月 17 日(金)午後 (時間は 9 月に決定を予定)

・会場：東京ビッグサイト (有明・東京国際展示場) 東展示棟会場内
ソリューションプレゼンセミナー会場 (東ホール内)

・登壇者：大島 芳彦氏、秋吉 浩気氏、田島 則行氏、富永 美保氏、山本 想太郎氏

・申込方法：公式 HP にて 9 月中旬頃ご案内予定

・概要：『学生デザインコンペティション 2023』の公開審査会を開催。

1次選考を通過した上位 6 作品のプレゼンテーションと最終審査を行います。テーマは『地域を想う、私の思い』です。

ご興味がある方は誰でもご参加頂けます。

学生の考える新しくフレッシュで柔軟な発想をぜひお楽しみください。

10.スケジュール

	1.st STEP (エントリー・作品データ)			2.nd STEP (パネル)		
	エントリー登録	データ提出	1次審査	A1 パネル提出	パネル展示	公開プレゼン
期間	2023/6/1～9/15		9月下旬	郵送: 11/13 (月) 午前必着	11/15(水)～17(金) @東京ビッグサイト	11/17(金) 13:20～15:30 @東京ビッグサイト
方法	エントリーフォーム		提出データをもとに審査員による審査	持込: 11/13 (月) 11:00～16:00		
注意事項	エントリー登録とデータ提出は同時に行っていただきます。		審査員より上位 24 名を事務局から連絡いたします。	選出した上位 24 作品を展示いたしますのでご提出お願いします。		1 次審査通過した上位 6 名による公開プレゼン

11. 各賞について

最優秀賞 (1 点) /10 万円

ゲスト審査員賞 (5 点) /3 万円

奨励賞 (5 点) /QUO カード 5 千円分

会場投票賞 (1 点) QUO カード 5 千円分

副賞 協賛企業様から副賞を予定しております。(現在調整中)

入選 (12 点) /賞状+会場展示

※参照 2022 年度協賛企業実績

マキタ様より インパクトドライバ TD111DSHX 1 台

オカムラ様より タスクシーティング「CYNARA(シナラ) 肘付きライトグレージュ 1 脚

ケルヒージャパン様より 乾湿両用両用クリーナー “NT 30/1 Tact 帯電防止防止” 1 台

12. 留意事項

■個人情報の取り扱いについて

個人情報は、応募登録及び審査に利用し、他の目的に使用することはありません。ただし、氏名/学校名/学年を公開することがあります。

■応募作品の著作権について

著作権は応募者に帰属しますが、大会当日に配布するパンフレット、本コンペの終了後に発行するアーカイブへの掲載、SNS への投稿や、入賞作品を発表する等の広報活動を行う場合、応募作品の著作権を主催者は使用できるものとします。

■写真の取り扱いについて

主催者が大会の宣伝・アーカイブ等のために出展者・模型等の写真を撮影させていただき、SNS・ポスター等に掲載する場合があります。

「Japan Home & Building Show 2023」開催概要

総称	Japan Home & Building Show 2023
展示会名称	<ul style="list-style-type: none"> ●第 45 回 ジャパンホームショー ●第 18 回 ふるさと建材・家具見本市 ●第 9 回 店舗・商業空間デザイン展 ●第 7 回 団地・マンションリノベーション総合展 ●第 6 回 インノベーションオフィス総合展 ●第 9 回 トイレ産業展 ●第 2 回 解体総合展 ●第 2 回 リノベ展
主催	一般社団法人日本能率協会
共催	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会／一般社団法人リビングアメニティ協会 一般社団法人住宅生産団体連合会／公益社団法人日本建築家協会
後援	外務省／経済産業省／国土交通省／林野庁／独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO） ／独立行政法人住宅金融支援機構（順不同）
協賛	関連 120 団体(予定)
会場	東京ビッグサイト（有明・東京国際展示場） 東展示棟
会期	2023 年 11 月 15 日（水）～17 日（金） 10:00～17:00
公式サイト	https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/exhibition/competition.html
来場方法	公式 HP にて 9 月中旬頃ご案内予定
来場予定者数	約 25,000 人（同時開催展含む）
同時開催	第 8 回 アジア・ファニッシングフェア／第 42 回 JAPANTEX2023